

適正利用・エコツーリズムワーキンググループからの報告

1. 知床エコツーリズム戦略の推進状況について

○知床エコツーリズム戦略の1年間の試行を実施した

- ・平成24年度の適正利用・エコツーリズム検討会議（以下、「検討会議」）で関係者が合意した「知床エコツーリズム戦略（案）」について、平成24年6月より試行を開始した。その結果地域からは3件の「提案」が提出された。

この戦略の含意は、地域関係者からの自主的な提案を受け、それを関係者が議論して決定することで、世界遺産管理への参加意識を高めるとともに、戦略で定めた原則の下で、現場の実態にあった政策を決定することにある。

○3件の提案内容とは

①知床五湖冬期利用促進事業部会（提案者：斜里町観光協会）

登録引率者による引率を前提として冬期の知床五湖の利用を提案。そのため、冬期閉鎖された道道知床公園線の除雪を実施し、知床五湖まで車両での送迎を可能とする。

②知床ヒグマエサやり禁止キャンペーン企画部会（提案者：斜里町観光協会）

観光客によるヒグマへのエサやり禁止の周知を提案。構成団体の協力の下、様々なツールを活用し啓発活動を進める。

③知床沼部会（提案者：羅臼山岳会）

知床沼での野営禁止について、一部解除を提案。野営可能とすることにより山岳遭難を防止し、区域の限定により植生保全を図る。

○知床エコツーリズム戦略の最終施行版の決定

- ・今年度の戦略の試行状況等を踏まえ、平成24年度中に知床エコツーリズム戦略を確定する。

○事務取扱要領の作成

- ・提案にあたっての具体的な手順や手続き等を定めた事務取扱要領を平成24年度中に策定する。この要領の制定によって、関係者が手順を共有し、より制度を利用しやすくなる。

2. 個別地域における検討状況

従来から検討してきた地域の検討状況については以下の通り。こちらも部会となっているが、戦略に基づく部会とは性質が異なる、「実施」のための部会である。

○知床五湖の利用のあり方協議会

→利用調整地区制度の平成26年度からの運用見直しに向けた協議を今年度から実施。
平成25年度のヒグマ活動期に新規運用法を見据えた実験を実施する方向で検討。

○カムイワッカ部会

→平成25年3月に立ち上げる予定。マイカー規制の平成26年度からの見直しに向けた検討が実施される予定。

○ウトロ海域部会

→海鳥の保全と観光資源としての活用を図る3カ年事業の最終年として総括を実施。
平成25年度に部会を解散し、平成26年度より関係者協働のための連絡会議に移行予定。

○羅臼湖部会

→歩道の付替えルートや整備水準を決定。利用のルール等についても合意。
今年度で部会は解散し、次年度からは新設する歩道の維持管理等を関係者で実施。

3. 今後の主な予定

○平成25年3月1日 第2回検討会議

→知床エコツーリズム戦略および事務取扱要領の確定。
→試行提案に関する検討状況の報告または決定。

○平成25年度～

→知床エコツーリズム戦略に基づく議論の本格的な実施。